

# ぼくの・わたしの絵手紙

## プログラムの概要・ねらい

少年自然の家で過ごした思い出を絵に描き、活動の振り返りの材料として思い出を深める。  
千葉市少年自然の家を利用した小学生は、はがきサイズの作品にして「絵手紙コンテスト」に応募できる。

|     |                                                                                                                           |    |      |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|------|
| 場所  | 自然の家内及び周辺、視聴覚室、レクルーム、集いのホール                                                                                               |    |      |
| 時間  |                                                                                                                           |    |      |
| 値段  | 無料                                                                                                                        |    |      |
| 季節  | 年間                                                                                                                        | 人数 | 何人でも |
| 準備物 | <p>【利用 者】画用紙、絵の具やクレヨンなどの描くもの、季節に合わせた服装<br/>パレット、救急用品</p> <p>【自然の家】水入れ、筆<br/>(貸出用具数に関しては要確認)、OHC<br/>※実施目的によって準備物は異なる。</p> |    |      |

## ①準備

必要備品と使用場所の鍵をサービスセンター受付で受け取る。

## ②実施の流れ

### 【時間】

活動の目的・ねらいに合わせて実施する。

〔テーマ例〕

『自然の家での思い出』

『自然の家で見つけた季節（動物・虫・植物）』

『自然の家の4コマ漫画』

『自然の家ストーリー』（グループによる合作）

『ここはどこでしょう！？』

スケッチ開始

- ・ハイキング時にデッサンする。
- ・時間を設け、所内の好きな場所で描く。

終了

※自然の家で完成させずに、持ち帰って完成させてもよい。

〔プログラム展開例〕

①クイズ大会

描いた絵をヒントに、どこの場所なのかを当てる。

②活動発表会

描いた絵をスクリーンに映し、活動の発表会を実施する。

④絵手紙コンテスト

自然の家主催事業「絵手紙コンテスト」に応募する。

※宿泊棟内・食堂（レストラン森の木）・大浴場・シャワー室内には入れない。

また、プログラムで他の利用者が使用している施設には、入らないように指導する。

※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビに遭遇した場合の注意を徹底する。（別紙 注意が必要な動植物参照）



## ③後片付け

部屋、備品等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ連絡する。  
使用備品と使用場所の鍵はサービスセンター受付へ返却する。